

令和3年度寄附講座開講報告

令和3年4月7日（水）に名城大学における寄附講座が開講されました。

今年度は7月21日までの毎週水曜日の2限目（10：50～12：20）に全15回の講義を実施します。単位は2単位で、合否は出席日数と課題の採点によって決定します。前年度はコロナの影響で急なオンライン授業の対応に間に合わず休講となりましたが、今年度は講師の方とも協議を重ねて準備してきました。



講義動画を説明する渡辺委員長（名城大学）

第1講から第3講義はオンライン授業でしたが、第4講以降は対面授業を予定しています。ただ緊急事態宣言等の影響でいつオンライン授業に切り替わるかわかりませんので講師の方には対面授業とオンライン授業のどちらも対応できるように動画作成等ご協力をしていただいています。

寄附講座は広報活動として土地家屋調査士を学生に少しでも知ってもらい、将来土地家屋調査士になっていただくことが大きな目的だと考えています。その目的を講師の方にもご理解いただき、不動産登記法だけを講義するだけではなく、日常業務で起こることや、なぜ土地調査士を目指したかといったことなど、学生の気持ちになって土地家屋調査士の魅力をわかっているように講義していきます。毎年寄附講座を続けていますが、まだまだ認知度は低いというのが実情です。

毎講義ごとに小テストと一緒に感想を書いてもらうのですが、講義を重ねるごとに学生の理解度も深まっていき、土地家屋調査士に興味を持ったという意見も多々あります。

我々土地家屋調査士は未来に残していくべき職業ですし、こうした取組みを継続していくことで調査士会の更なる発展もできると信じて今後も努力していきます。

継続は力なり！継続のなかにも変化をつけて、皆さまのお力添えをいただき進めていきたいと思えます。

今後も会員皆様のご理解とご協力をいただけますようよろしくお願いいたします。

（寄附講座運営委員長 渡辺義太）